

CASIO®

P

5057 * JA

取扱説明書

5057

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
未長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取
扱いただきますようお願い申し上げます。

本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に
記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。

なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

- 時刻・カレンダーの合わせ方 13
- ストップウォッチ 6
- アラーム 11

ご使用になる前に

本機は、電池消費を少なくするために「秒針を停
止した状態」で出荷しています。

ご使用になる前に、いずれかのボタンを押してく
ださい。

下ダイヤル（秒針）が動き出します。



下ダイヤル（秒針）

安全上のご注意

絵表示について 本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」(注意) を意味しています。
(左の例は感電注意)



⊘ 記号は「してはいけないこと」(禁止) を意味しています。
(左の例は分解禁止)



● 記号は「しなければならないこと」(強制) を意味しています。
(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。

※本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
- ② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
- ③ 体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。





注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

目次

安全上のご注意 表紙裏面

操作のしくみと表示の見方 5

ストップウォッチの使い方 6

- ストップウォッチモードへの切替え方 6
- 時刻モードへの切替え方 7
- 計測のしかた 8
- ラップ時間を計るには 8
- 平均スピード 9
- コースや区間の距離を入力するには 10

アラームの使い方 11

- アラーム時刻のセット 11
- アラームのON / OFF 12
- 鳴っている電子音を止めるには 12

時刻・カレンダーの合わせ方 13

- 「時刻」、「カレンダー」を修正する 13

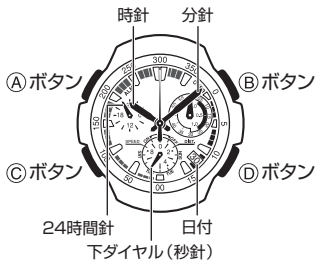
針の基準位置合わせ 17

| | |
|----------------|----|
| 製品仕様 | 20 |
| ご使用上の注意 | 22 |
| お手入れについて | 25 |
| 電池交換について | 26 |

操作のしくみと表示の見方

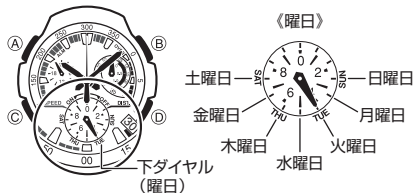
•機種により形状や文字板の印刷内容が異なります。

時刻モード



• 「曜日」の確認

(A) ボタンを押すと、約2秒間、下ダイヤルが曜日を指し示します。



ストップウォッチモード

ストップウォッチ秒針

右ダイヤル
(ストップウォッチ分針)



• 「時刻モードで (B) ボタンを押して、すぐに計測を始める方法」もあります。

P-6

(D) →
← (C)
D (リセット状態の時)

アラームモード

「ALM」を指します。

•アラームモードで2~3分間何も操作を行なわないと、自動的に時刻モードに戻ります。



P-11

(C) →
← (C)

ストップウォッチの使い方

ストップウォッチは1/20秒単位で59分59秒95（60分間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

観戦中であるレースの区間やコースの距離を入力すると、ストップウォッチの計測値やラップ時間から、この時計はそのコースや区間の平均スピードを計算し表示します。

- 平均スピードについての詳細は、9ページの「平均スピード」をご覧ください。
- 自動車やバイクを運転中はストップウォッチを操作しないでください。非常に危険であり、事故の原因になる恐れがあります。

●計測リセット状態

ストップウォッチモードの分針、秒針、1/20秒針が12時位置を指し示している、以下の状態のことです。

- 計測中あるいは一時中断中ではない

計測リセット状態にするには、「計測の一時中断中」に④ボタンを押します。

なお、計測リセット状態で④ボタンを押すと、時刻モードに切り替わってしまいます。



下ダイヤル（1/20秒針）

- 計測スタートまたは再スタート後の1分間だけ動きます。

■ストップウォッチモードへの切替え方

ストップウォッチモードに切り替えるには、次の2つの方法があります。

- ストップウォッチモードに入ってから計測を始める：下記の「計測リセット状態にするには」をご覧ください。
- 時刻モードから計測を始める：7ページの「すぐに計測を始めるには」をご覧ください。

●計測リセット状態にするには時刻モードのとき

④ボタンを押します

⇒ストップウォッチモードの計測リセット状態（左記参照）になります。

- ④ボタンを押すと、ストップウォッチの計測を始めることができます。

〈時刻モード〉

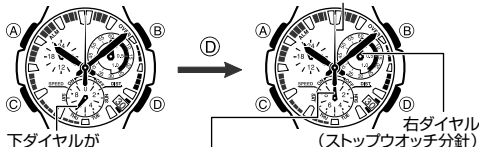


下ダイヤルが秒針として動いています。

〈ストップウォッチモード〉

インジケーター針が一周します。

- ストップウォッチモードでは秒針になります。



下ダイヤルが0位置*に移動します。

- * 0または60と印刷されています。
- ストップウォッチモードでは1/20秒針になります。

●すぐに計測を始めるには
時刻モードのとき

Ⓑ ボタンを押します

→ストップウォッチモードに入ると同時に計測が始まります。

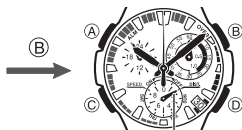
- 1秒以内の計測は行なえません。
- 以下の状態のときは、時刻モードでⒷボタンを押してもストップウォッチの計測が始まりません。
 - 日付の更新中(23:59 59秒~更新が終わるまでの間)
 - アラーム音が鳴っている間

〈時刻モード〉



下ダイヤルが秒針として動いています。

〈ストップウォッチモード〉



ストップウォッチモードの1/20秒針になり、計測が始まります。

■時刻モードへの切替え方

ストップウォッチモードのとき

計測リセット状態(6ページ参照)で、Ⓓボタンを押します

〈ストップウォッチモード〉



インジケーター針(秒針):12時位置
右ダイヤル(分針):12時位置
下ダイヤル(1/20秒針):0の位置

〈時刻モード〉



時計モードに戻ると、下ダイヤルは秒針として動きます。

■ 計測のしかた

時刻モードまたはストップウォッチモードで行ないます。

インジケーター針
(ストップウォッチ秒針)

右ダイヤル
(ストップウォッチ分針)



下ダイヤル (1/20秒針)

- 計測スタートまたは再スタート後の1分間だけ動きます。



- 1/20秒針は、計測スタートまたは再スタート後の1分間のみ動きます。
ストップ後は、計測値を表示します。
- 計測中に D ボタンを押しても、リセットされます。

<積算計測>

ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに B ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。



■ ラップ時間を計るには

1. 計測を始める

ストップウォッチモードのとき

B ボタンを押します



2. ラップ時間を表示する

D ボタンを押します

→現在のラップ時間を表示します。

- D ボタンを押すたびにその時点までのラップ時間を表示します。
- ラップ時間は約2秒間表示し続けます。
- D ボタンを押してラップ時間を表示させたとき、次のラップ時間の計測は時計の内部で始まっています。ラップ時間を表示したあとは、ストップウォッチ計測や積算時間を計測できなくなります。

3. 計測を止める

B ボタンを押します

- この操作で、最終のラップ時間が表示されます。
- D ボタンを押すと、ストップウォッチは計測リセット状態に戻ります。

■ 平均スピード

レースの区間やコースの距離を入力すると、この時計は下記3つのストップウォッチの計測値をもとに、コースや区間の平均スピードを計算し表示します。

計測時間：ストップウォッチ操作を開始してから、止めるまでの平均スピード

総合の計測時間：ストップウォッチ操作を開始してから、最後に止めるまでの平均スピード

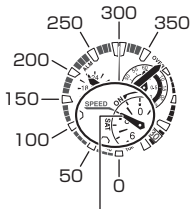
ラップ時間：各ラップ時間の平均スピード

- 自動車やバイクを運転している間は、ストップウォッチを操作しないでください。非常に危険であり、事故の原因になる恐れがあります。
- 工場出荷時の距離は 1.0 が入力されています。
- 距離を入力する方法については、10ページの「コースや区間の距離を入力するには」をご覧ください。

● 平均スピードの表示

ストップウォッチの計測値を止めたりラップ時間を表示したあと、時計のインジケータ針は平均スピード値を表示します。平均スピードを表示している間、1/20秒針はSPEED (SPD) を指します。

- 下ダイヤルが動いている間は、時計を操作することができません。



下ダイヤル(1/20秒針):
SPEEDを指します。

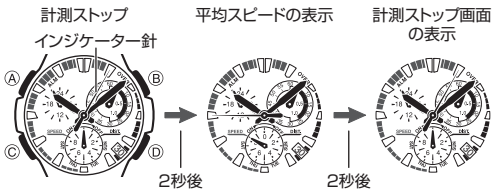
- 距離の単位をキロメートルとして入力した場合、平均スピードの単位は「キロメートル/時間」です。また、距離の単位をマイルとして入力した場合、平均スピードの単位は「マイル/時間」です。
- この時計には、距離の単位（キロメートルあるいはマイル）をセットする機能はありません。
- 平均スピードは0から350の値を10単位で表示します。1の位は四捨五入になります。
- 以下の場合、時計が平均スピードを計算できないため、インジケータ針は OVER を指します。
 - 平均スピードの計測値が 350 を超えるとき
 - ストップウォッチの計測値が 60 分を超えると
 - ラップ時間が 60 分を超えると（次のラップ時間を取ったときに、平均スピードの計算が再開されます）

インジケータ針(秒針):
OVERを指します。



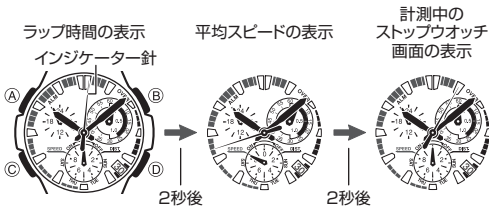
<ストップウォッチの計測時間や積算時間の場合>

⑥ ボタンを押してストップウォッチ操作を止めてから約2秒後、インジケータース針が平均速度を表示します。約2秒間過ぎると、インジケータース針はストップウォッチの計測値(秒)に戻ります。



<ラップ時間の場合>

④ ボタンを押してラップ時間を表示してから約2秒後、インジケータース針が平均速度を表示します。約2秒間過ぎると、インジケータース針は現在計測中のストップウォッチの計測値(秒)に戻ります。



■ コースや区間の距離を入力するには

1. 入力画面を表示する

ストップウォッチモードのとき

計測リセット状態(6ページ参照)で、1/20秒針がDIST.の位置に動くまで、④ ボタンを約3秒間押し続けます

⇒確認音が鳴ります。

2. 距離の値を入力する

④または⑥ ボタンを押します

- ⑥ ボタンを押して、インジケータース針を動かし、整数の値を入力します。0から14までの値を入力することができます。
- ④ ボタンを押して、分針を動かし、小数点以下の値を入力します。0.0から0.9までの値を入力することができます。

3. 入力を終える

④ ボタンを押します

- 平均速度を表示しないするには、距離の値を0.0と入力します。



小数点の以下の値



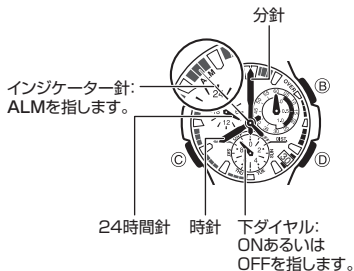
右ダイヤル(分針)

アラームの使い方

5ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい◎ボタンを押し、アラームモードに切り替えます。

アラームモードでは時分を設定でき、設定した時刻になると10秒間電子音が鳴ります。

- アラームは時刻モードの時刻に合わせて鳴ります。
- アラームモードで2～3分間何も操作を行なわないと、自動的に時刻モードに戻ります。
- アラーム時刻を表示するために針が動いている間は、「◎ボタンを押しして他のモードに切り替える」以外の機能は働きません。



■ アラーム時刻のセット

1. セット状態にする

アラームモードのとき

◎ボタンを約3秒間押し
続けます

→確認音が鳴ってアラームが自動的にONになり、秒針がONの位置に移動します。

- セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。
なお、セット状態が解除されるまでに行なった変更は保持されます。



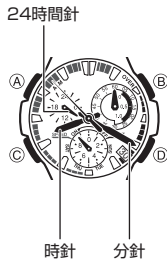
下ダイヤル:ONを指します。

2. セットする

④または③ボタンを押します

⇒ ④ボタンを押すごとに1分ずつ進み、③ボタンを押すごとに1分ずつ戻ります。

- ④・③ボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるにはいずれかのボタンを押します。
- セットする時刻の午前と午後を間違えないように、24時間針もあわせてご確認ください。

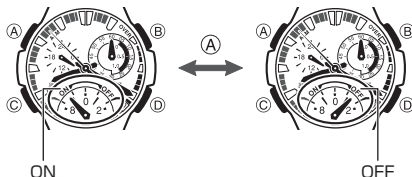


■ アラームのON / OFF

アラームモードのとき

①ボタンを押します

⇒ ①ボタンを押すごとに、ONとOFFが切り替わります。



■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

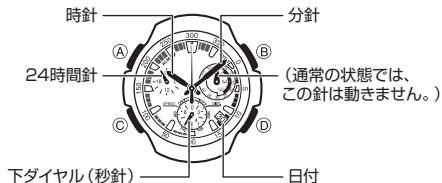
3. セットを終了する

①ボタンを押します

時刻・カレンダーの合わせ方

時刻モードで、現在の時刻やカレンダーを設定します。

〈時刻モード〉



■「時刻」、「カレンダー」を修正する

1. 時刻の修正状態にする

時刻モードのとき

Ⓐ ボタンを約3秒間押し
続けます

→ インジケータ針が12時位置に移動し、秒針が0位置*に移動します。

* 0または60と印刷されています。

- セット状態で2~3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

なお、セット状態が解除されるまでに行なった変更は保持されます。

インジケータ針



下ダイヤル (秒針)

2. 時分を修正する

①または②ボタンを押します

→ ①ボタンを押すごとに1分ずつ進み、②ボタンを押すごとに1分ずつ戻ります。

- ①・②ボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるにはいずれかのボタンを押します。
- 時を合わせるときは、24時間針もあわせてご確認ください。
- 時分の修正だけを行なう場合は、修正後、③ボタンを押してください。
セット状態が解除され、秒針が0秒から動き始めます(時報に合わせて押すと、正確に合わせられます)。

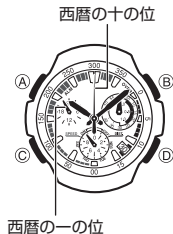


3. 年の修正状態にする

③ボタンを押します

→ 年を修正する状態になります。

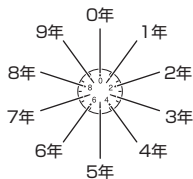
- 年は、西暦の「十の位」と「一の位」を設定します。



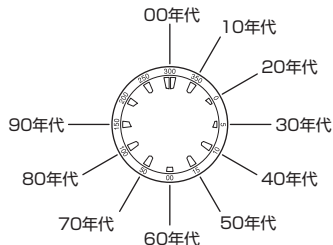
4. 年を修正する

④ および ② ボタンを押します

⇒ ④ ボタンを押すごとに、「一の位」が1つずつ進みます。



⇒ ② ボタンを押すごとに、「十の位」が1つずつ進みます。



5. 月の修正状態にする

③ ボタンを押します

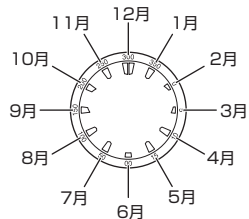
⇒ インジケーター針が現在の月の位置まで移動します。



6. 月を修正する

④ ボタンを押します

⇒ ④ ボタンを押すごとに、1つずつ進みます。



7. 日付の修正状態にする

Ⓒ ボタンを押します

⇒ 日付を修正する状態になります。



8. 日を修正する

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

⇒ Ⓓ ボタンを押すごとに1日ずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに1日ずつ戻ります。



9. セットを終了する

Ⓐ ボタンを押します

- ⇒ セット状態が解除され、秒針が0秒から動き始めます。
- 時報に合わせて押すと、正確に合わせられます。
 - 曜日は自動的に算出されます。



日付は、うるう年および小の月を自動修正します。

針の基準位置合わせ

正しい時刻に合わせても針の位置が合っていないときは、以下の操作を行なって針の基準位置を確認してください。針の基準位置がずれているときは、位置を修正してください。

1. 基準位置合わせの状態にする

時刻モードのとき

- ① ボタンを押しながら
- ② ボタンを約3秒間押し続けます

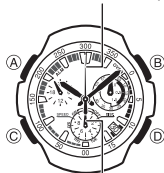
→ 確認音が鳴り、インジケータ針と秒針が基準位置に移動します。

〈基準位置〉

インジケータ針：12時位置
秒針：0位置*

* 0または60と印刷されています。

インジケータ針



下ダイヤル(秒針)

★インジケータ針と秒針が基準位置にある場合は、手順3.に進みます。

- 針の基準位置確認状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。なお、セット状態が解除されるまでに行なった変更は保持されます。

2. 基準位置を合わせる

インジケータ針の場合は

- ③ ボタンを押します

秒針の場合は

- ④ ボタンを押します

→ 針が時計回りで回転しますので、基準位置に合わせます。

- ③・④ ボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるには、いずれかのボタンを押します。



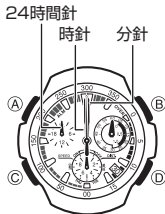
3. 時・分針・24時間針を確認する

◎ボタンを押します

→時・分針と時針(24時間制)が基準位置に移動します。

〈基準位置〉

時針：12時位置
分針：12時位置
24時間針：24時位置



★時・分針・24時間針が基準位置にある場合は、手順5.に進みます。

・時針と分針がずれている場合・

4. 基準位置を合わせる

◎または◎ボタンを押します

→◎ボタンを押すごとに進み、◎ボタンを押すごとに戻ります。



- ◎・◎ボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるには、いずれかのボタンを押します。
- 24時間針は時・分針に連動して動きます。

5. 右ダイヤル針を確認する

◎ボタンを押します

→右ダイヤル針が基準位置に移動します。

〈基準位置〉

右ダイヤル針：60位置



★右ダイヤル針が基準位置にある場合は、手順7.に進みません。

右ダイヤル針がずれている場合

6. 基準位置を合わせる

◎または◎ボタンを押します

→◎ボタンを押すごとに進み、◎ボタンを押すごとに戻ります。



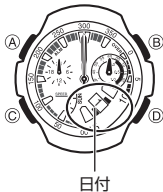
- ◎・◎ボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるには、いずれかのボタンを押します。

7. 日付を確認する

◎ ボタンを押します

⇒ 日付が基準位置に移動します。

〈基準位置〉
日付：1日



★日付が基準位置にある場合は、手順 9. に進みます。

日付がずれている場合

8. 基準位置を合わせる

◎ または◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すことに進み、◎ ボタンを押すことに戻ります。



- ◎・◎ ボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるには、いずれかのボタンを押します。

9. 基準位置合わせを終わる

◎ ボタンを押します

⇒ 時刻モードに戻り、通常の時刻を表示します。

- ◎ ボタンを押さずに◎ ボタンを押すと、最初のインジケーター針と秒針の基準位置確認に戻ります。



針の基準位置合わせが終了したら、13ページの「『時刻』、『カレンダー』を修正する」をご覧ください。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

精 度：平均月差± 20 秒以内

基 本 機 能：時・分(10秒運針)、秒、24時間制、日付、
曜日

ストップウォッチ機能：計測単位 = 1/20 秒
計測範囲 = 59分59秒95(60分間計)
計測機能 = 通常計測、積算計測、ラッ
プ計測
その他：区間距離の入力（入力範囲：
0.0から14.9まで）、区間平均スピー
ド表示（表示範囲：0から350 単位/
時まで、10 単位ごと）

ア ラ ー ム 機 能：セット単位 = 時・分
電子音 = 10 秒間

そ の 他：自動復帰機能

主 要 回 路 素 子：音叉型高性能水晶振動子、
ワンチップCMOS-LSI

使 用 電 池：SR927W

持 続 時 間：約3年
(1日あたり電子音10秒間使用した
場合)



ご使用上の注意

■防水性

- 防水時計は時計の表面または裏蓋に「WATER RESIST」「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

| 表示 | 日常生活用 防水 | 日常生活用強化防水 | | |
|-----------------|---------------|-----------|--------|--------|
| | | 5気圧防水 | 10気圧防水 | 20気圧防水 |
| 時計の表面または裏蓋に表記 | 「BAR」 表記無し | 5BAR | 10BAR | 20BAR |
| 使用例 | | | | |
| 洗顔、雨 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 水仕事、水泳 | × | ○ | ○ | ○ |
| ウインドサーフィン | × | × | ○ | ○ |
| スキューバダイビング(素潜り) | × | × | ○ | ○ |

- ※ 専門的な潜水=スキューバダイビング(空気ボンベ使用)でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも水中や、水分のついたまま、りゅうずやボタンの操作をしないでください。
- 防水構造の機種でも、時計をつけたままの入浴、洗剤等(石鹸・シャンプーなど)のご使用をお避けください。防水性能を低下させる原因となります。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- 防水性を保つために定期的(2~3年を目安)なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水試験を行ないますので、必ずお買い上げ店あるいは最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。

- 防水時計の一部にデザイン上、皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態では、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかったり、水が時計内部に浸入した場合は、そのままご使用にならず、ただちに修理することが必要です。
- 時計内部に浸入した水は、電子部品や機械、文字板などを破損する原因となります。

■バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは劣化やさび(錆)などにより切れたり外れたりする場合があります。時計の落下や紛失の原因となります。バンドは、常にお手入れしていただき、清潔にご使用ください。バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理(有償)または新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にご来店ください。

■温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。

■ ショック

- 通常の使用状態でショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■ 磁気

- アナログ時計やコンビネーション（アナログとデジタル）時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気（オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など）を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。

■ 静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。

■ 薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■ 保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■ 樹脂製品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂製品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたまにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当たったり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくとも色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- 樹脂部品の交換は、最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にお申し付けください。有償にて申し受けます。

■天然皮革・合成皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が天然皮革や合成皮革に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。

ご注意：天然皮革・合成皮革は、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■金属製品について

- 金属を使用した製品・バンドは、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さび（錆）が発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などで良く拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、良く乾燥させてください。
- バンドは、時々、柔らかい歯ブラシなどにより、中性洗剤を水で薄めた液や石鹼水でバンドを洗って、良く手入れをしてください。このとき、時計の本体にかからないようご注意ください。

■抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

- ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚したり、皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります。ケース・バンドは常に清潔にご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとしみやすくなります。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また布等で簡単にふきとることができます。
- 皮革バンドは乾いた布で軽く拭くなどして常に清潔にご使用ください。樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。
- バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にご来店をお申し付けください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。
- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

■お手入れを怠ると

〈さび（錆）〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
※ 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

- 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行いません（防水検査は別途有償となります）。

■最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点で時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■電池の消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。